

学校だより
10月号

つなしま



令和5年9月29日
横浜市立綱島小学校

【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

「学校スローガン ㊦㊧㊨㊩ を目指して」

副校長 魚住 千尋

早いもので、10月になり、前期終業式を迎えます。本校では、今年度の学校スローガン、「㊦ながろう ㊧かま やさ㊨さ ㊩なびあい」を目指して様々な活動に取り組んできました。

「㊦ながろう」では、新しい学級や学年の友達、ペア学年でのつながりを深めてきました。各学級では、係活動や集会活動に取り組み、友達と一緒に活動する楽しさ、喜びを感じ、次の活動へつないでいきたいという意欲が感じられました。ペア学年では、以前学校だよりでも紹介した1・6年生での朝の手伝い活動を始め、新体カテスト、ペアでの学校探検ラリー、夏休みビンゴの集会活動など、優しい言葉かけや態度で関わり、つながりを深めていました。また、夏休みには、相撲大会や盆踊りなど、地域の方々子どもたちとのふれ合いを間近で見ることができ、地域の方々のあたたかさ、地域とのつながりの深さを感じました。

「㊧かま」では、学習や生活の中でなかまとの関わりが増えました。特に4年生以上の宿泊体験学習や修学旅行では、普段学校では体験できないキャンドルファイヤーでなかまと一緒に歌ったり踊ったりして楽しみました。また、自然豊かな中でのグループ別ハイキングでは、なかまと励まし合いながら目的地を目指し、宿泊では、友達と遊んだり話したりし、なかまとの仲を深めました。

「やさ㊨さ」では、休み時間にも1年生と6年生で話したり遊んだりしている姿をよく見かけ、笑顔でやさしく話し、思いやりをもって接していました。個別支援学級では「秋まつり」でどんなお店を行うか決めるため、話し合う前に友達が考えた遊びを体験する時間を設けていました。上学年の子どもが下学年の子どもに遊び方を教えたり、一緒にやってあげたりしていました。自然にサポートする姿に子どもたちのやさしさや成長を感じました。

「㊩なびあい」では、日々の学習の中で、自分の考えをもった後、友達と話し合って解決する場面が見られました。特に、ICT機器（ロイロノート）を活用し、友達の考えを共有して学び合う姿が見られました。子どもの情報モラル、情報活用能力を育てながら、学びを深められるよう、今後も支援していきます。

今後も引き続き「㊦㊧㊨㊩」を目指して取り組んでまいります。保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

《お知らせ》

正門を入ったところにある「桜公園」や校庭にある桜は、長年、卒業式や入学式の時期に花を咲かせ、楽しませてくれました。先日、校内の樹木剪定のために樹木診断を行いました。その際、「桜の木が腐朽したり、空洞化したりしており、倒れる危険性があるものが多い。」と言われました。子どもたちの安全を第一に考えて、桜公園や校庭の桜で倒木の危険がある木を伐採することになりました。

作業は、10月2日の予定です。

